

平成28年度 日本民間生薬検定 (初級)

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

問1 1. 次の文章はノアザミについて書かれたものです。ア～ケに当てはまる用語をA～Vより選択し、解答欄に記号を記入しなさい。

ノアザミは(ア)科(イ)属の(ウ)年草。葉は(エ)状に中裂し、縁に(オ)。花期は5-8月で、(イ)属の中では春咲きの特徴をもつ。

花は(カ)で、(キ)色の筒状花のみで構成される。花の色はまれに白色のものがある。薬用部分は(ク)で(ケ)頃に採取し、洗浄後天日乾燥する。

用語：(A)アブラナ (B)バラ (C)キク (D)アザミ (E)サクラソウ (F)一 (G)二 (H)多 (I)羽 (J)卵 (K)白毛がある  
(L)トゲがある (M)房状 (N)頭花 (O)青 (P)紅紫 (Q)黒 (R)花 (S)茎 (T)根 (U)開花期 (V)発芽期

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
解答欄	C	D	H	I	L	N	P	T	U

2. ノアザミの写真を選びカッコ内に○を記入しなさい。



( )



( ○ )



( )

解説：ノアザミの特徴と薬用部分に関する問題です。

問2 次の文章の内、正しいものには○、誤っているものには×を( )内に記入しなさい。

- ( × ) 1. 生薬とは植物、動物と鉱物の一部または全体を生そのまま用いる。
- ( × ) 2. 生薬と民間薬とは全く同一のものとして用いられる。
- ( ○ ) 3. 薬草の中にはトリカブトやアサガオのような有毒成分を含むものがある。
- ( ○ ) 4. 植物が紫外線防御のために作った抗酸化物質を私たちは健康維持のために利用している。

問3 ダイコンについての説明です。正しいものには○、誤っているものには×を( )内に記入しなさい。

- ( ○ ) 1. 春の七草の1つ。春に白～淡紅色の4弁の十字架状の花をつける。
- ( ○ ) 2. 根には消化酵素ジアスターゼを含み、でんぷん質の消化を助ける。
- ( × ) 3. 「カイワレ」はダイコンとは別の種の植物である。
- ( ○ ) 4. 種子を粉末にして腹痛や咳に、根をおろし風邪、打ち身、火傷、しもやけ等に用いる。
- ( ○ ) 5. 生の葉を熱冷ましや虫下しとして用いる。

解説：カイワレはダイコンの種を発芽させた双葉で幼苗です。

問4 ナズナについての説明です。正しいものには○、誤っているものには×を( )内に記入しなさい。

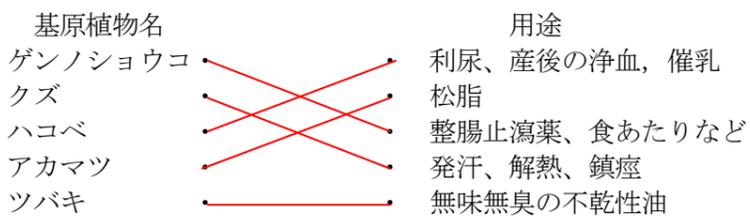
- ( ○ ) 1. 生薬名を薺菜といい、秋に芽生え、根生葉はロゼットで越冬し、春を迎えて十字架状の白い4枚の花弁を持つ小花を咲かせる。
- ( ○ ) 2. 果実は三味線のバチに似た形をしているので別名ペンペン草という。
- ( × ) 3. 薬用部分は種子の部分なので、種子を陰干して保存する。
- ( ○ ) 4. 民間薬的には煎じたり、煮詰めたり、黒焼きなどして肝臓病、解熱に用いる。

解説：ナズナの薬用部分は全草です。

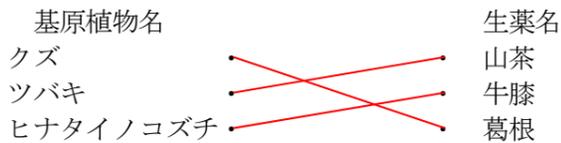
問5 次の生薬名と関連する基原植物名を線で結びなさい。

生薬名		基原植物名
艾葉	●—————●	ヨモギ
蜂斗菜	●—————●	フキ
燕薺子	●—————●	カブ

問6 次の基原植物名に関連する用途を線で結びなさい。



問7 次の基原植物名に関連する生薬名を線で結びなさい。



問8 私の名を推理し、最も適切な用語を用語欄より選び、( ) 内に記号で記入しなさい。

私は地中に多くのヒゲ根を持ち、地上部には2~3mm幅の線形で硬い葉を持ち、暑い夏、寒い冬を乗りきるのだ。

初夏~夏にかけて、葉の中に隠れる様に ( L ) 向きに白い可愛い花を咲かすのだ。

花が終わるとつやつやした ( A ) 色のまんまるい ( C ) を作る。

人々は私のヒゲ根の先端の肥大した部分の ( D ) を採り ( H ) ( G ) に使っている。

私の名前は ( J ) 、生薬名 ( I ) で ( N ) 科に属している。

類似の植物に ( K ) がある。

用語欄： (A)青 (B)黒 (C)果実 (D)塊根 (E)塊茎 (F)便秘 (G)滋養強壮 (H)鎮咳、去痰 (I)麦門冬  
(J)ジャノヒゲ (K)ヤブラン (L)下 (M)上 (N)ユリ

解説：ジャノヒゲに関する全般的な特徴及び薬用部分と利用方法です。

問9 ドクダミとオオバコの特徴について書かれたものです。a~fより最も適切なものを記号で( )に記入しなさい。

ドクダミ ( a ) ( d ) ( f )

オオバコ ( b ) ( c ) ( e )

- a) 薬用部は地上部全草を使い、便秘、皮膚病、利尿に用いる。
- b) 薬用部は全草と種子を使い、鎮咳去痰、利水(利尿)に用いる。
- c) 合弁花類
- d) 離弁花類
- e) 果実の上の部分かフタの様に外れて種子がでる(蓋果(がけ))。
- f) 果実の成熟後に果実の特定な位置に穴が開き種子を散布する(さく果)。

問10 次の採集方法について( )の中に当てはまるものを〔 〕より選び番号で記入しなさい。

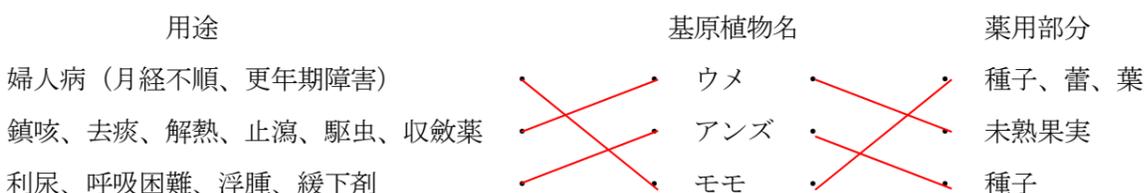
1. ( ① ) は半熟して自然に落下した果実に煤をまぶして、籾殻の煙で燻す。一昼夜燻製したのち、天日で乾燥して仕上げる。

2. ( ② ) は6月頃に熟果の種子を取り出し、天日で乾燥(陽乾)する。種子を圧縮し脂肪油とする。

3. ( ③ ) は7月頃に熟果の種子を取り出し洗浄後、天日で乾燥(陽乾)する。花は、開花前後(開きかけ)の蕾を採取し、陰干し(陰乾)する。葉は、7~8月に採取して、生のまま或いは乾燥させて用いる。

〔 ①ウメ ②アンズ ③モモ 〕

問11 次の植物の用途と基原植物名と薬用部分について関連するものを線で結びなさい。



解説：ウメ、アンズ、モモはいずれもバラ科サクラ属ですが、その違いを把握してください。